

大規模地震時医療活動訓練

令和6年9月27日（金）・28日（土）に、埼玉県や関係機関と連携して大規模地震に対する医療活動訓練を実施しました。

このような大規模地震に備えた総合的な訓練が実施されるのは、令和元年以来となります。

【院内訓練参加者】

- 当院訓練参加者 107名
- 看護学校生 36名
- 川口薬剤師会（薬剤師） 2名（ほか）

■ 連携した機関

- 日本赤十字社埼玉県支部 南部保健所 川口市保健所
- 川口市消防局 近隣医療機関（ほか）

災害対策本部

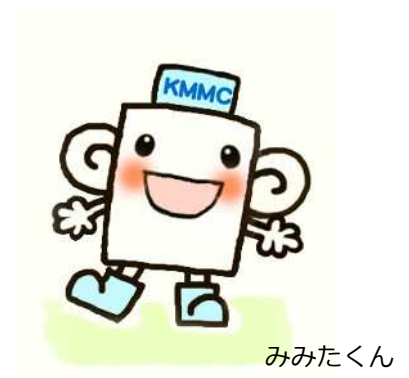
- 情報収集室からの報告に対し、指示をだします。



川口市立医療センター から 埼玉医科大学総合医療センターまで
自衛隊ヘリによる患者搬送訓練を実施しました。



搭乗した
渥美Dr.と佐々木Ns.

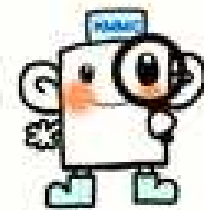


みみたくん

情報収集室



- 情報収集室には、院内外から様々な情報が入ります。その情報を迅速にまとめて本部へと報告します。
- 本部からの決定事項などを各所に伝達します。



みみたくん

DMAT・DPAT 活動拠点本部の様子



多数傷病者受入訓練 (院内・その他)



- 各救助所では、症状に応じて医師が診察しています。

- 輸血用血液の搬送や連携病院から重症者の搬送訓練も行いました。



- 川口市医療センターは、埼玉県南部医療圏の基幹災害拠点病院として、DMAT・DPATの活動拠点を設置しました。

